

# Challenging

# OTSUMA Ranzan



大妻嵐山  
ここでなら  
できそう。

Otsuma Ranzan Junior and Senior High School

Global Eco-Science School

埼玉県比企郡嵐山町菅谷 558 0493-62-2281 大妻嵐山中学校高等学校 2020.7.1

## 「学校再開、そして…」～受験報告会及び進路説明会開催～

6月1日からの学校再開から、あっという間の1か月。久しぶりに会えた友達との楽しい会話。気がつくとき密にはなっていませんか？新たに提唱されている「新しい生活様式」。決して友達との分断を進めているわけではありません。友人との関係性は近くても、ソーシャルディスタンスはしっかりとっていきましょう。



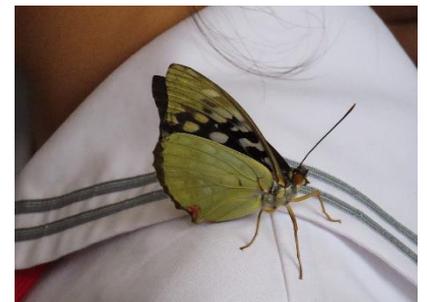
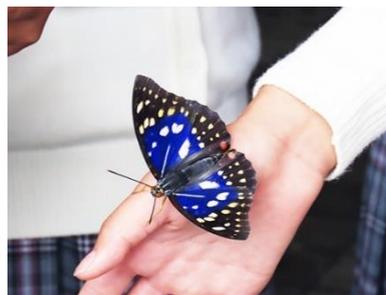
さて、3年生にとっては部活動の大会やコンクールなどが全て中止や延期となり、3年間の集大成としては何ともやるせなく、ほとんど達成感や成就感を感じることができなかったのではないのでしょうか。

こうした君たちの悔しさや無念さを想うたびに何とも悲しい気持ちになります。しかし、現実はその感傷にばかり浸ってはいられません。3年生にとって「受験」といった大きな難題が目の前にやってきています。こればかりは、逃げるわけにもいかず、皆さんが全力をもってぶつかっていかなければなりません。今回、受験報告会そして進路説明会がZoomを利用して開催されました。3年生の皆さん、これからが、皆さんの力の見せどころです。頑張りどころとしてはまさに「今」なのです。先輩たちの話を自らのモチベーションとして頑張ってください。

## 「大妻嵐山…だから、できる？」 …国蝶オオムラサキ放蝶…

飛ぶぞ～！ 飛びますよ～！ 飛んだ!!  
嵐山で羽化したオオムラサキが放蝶されました。毎年のごとくはいえ、オオムラサキの放蝶には胸が高まりますね。自然豊かな「嵐山だからこそ…できる？」ことなのでしょう。

それぞれの位置から飛び立ちを狙って、さあ～行けえ～です。



さて、ここでオオムラサキ「なるほど講座」。

皆さんもご承知のようにオオムラサキは夏に現れる大型で非常に美しいタテハチョウの仲間です。山地に多く、クヌギなどの樹液に集まっている姿を見ることができます。オスの翅は紫色に輝いていますが、メスはこの紫色がなく、黒い色をしています。メスはオスよりより大型で、飛んでいる姿はとて迫力があります。そして、オオムラサキは何といっても日本の国蝶（こくちょう）です。皆さんは、日本の国蝶がどの様に決まったのかを知っていますか。国蝶を決めようと言う話が持ち上がったのは、1933年に行われた蝶類同好会。その後色々議論があり、候補として上がった種類としては、オオムラサキの他にアゲハチョウ、アサギマダラ、ギフチョウ、アカボシウスバシロチョウ（朝鮮半島に生息）があったようです。

しかしながら、国蝶を決めるまでには議論も多く、話はなかなか進みませんでした。しばらくして1956年6月20日、日本で初めて蝶をデザインとした切手が発行されました。これに刺激され、翌年1957年、日本昆虫学会総会でオオムラサキが国蝶として選ばれたのです。

## 表現する力…嵐山の4つの力… コロナの感染拡大の中で私たちにできることは？

6月30日(火)の6,7限で実施された高3国際文化研究での動画発表。この授業では、SDGsを念頭に置いて、現在の国際情勢の中で私たちができること、やらなければいけないこと等についてテーマを設定して数分の動画を作成して発信しようとするものです。

君たちも当然知っているように、SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。

当日は、「医療崩壊」「食品ロス」「差別」「飢餓」「教育」や「文化」など様々なテーマでの動画が発表されました。

いずれも、メッセージ性の高い作品となっていました。インパクトのある画像のチョイスや言葉などには随分と工夫が感じられました。参加した生徒たちにとっては、いろいろな作品を視聴して他者に伝えることがどれほど難しいのかを感じたのではないのでしょうか。



## グローバルな女性を目指して…オーストラリアターム留学説明会

6月20日(土)に1月からおよそ8週間にわたるオーストラリアへのターム留学の説明会がありました。ターム留学は、オーストラリアの名門私立女子高校のオール・ハローズ高校に1ターム(約8週間)学ぶ短期留学です。

姉妹校提携により、相手校での学費が免除され、通常のターム留学に比べ、割安に留学ができます。

現在新型コロナウイルスの関係で渡航に対する制限がかけられている状況の中で、参加を希望する人がいるのか心配でしたが、さすが嵐山、近年にないほどの盛況ぶりでした。

結局、12名の参加申し込みがありましたが、ターム留学の派遣人数は2名。近年にないというか初めての狭き門となりました。いずれにしても、こうした機会を有効に活用して、グローバルなステージで活躍する女性として一人ひとりが成長して欲しいと思います。



## わくわくワークショップ（英語）を開催

6月20日(土)、今回は、オンラインで英語の五十嵐先生とのマンツーマンレッスンを体験してもらう講座を準備。英語での挨拶から始まり、大妻嵐山の制服のことやおもちゃのことなど、みんな積極的に話をして盛り上がりました。

限られた時間ではありましたが、学校でおこなう英語講座とは、また違った楽しさを感じていただけたようでした。次回、英語のわくわくワークショップは、10月24日開催を予定しています。お楽しみに！

